

令和6年度 第3回 県政モニター調査結果

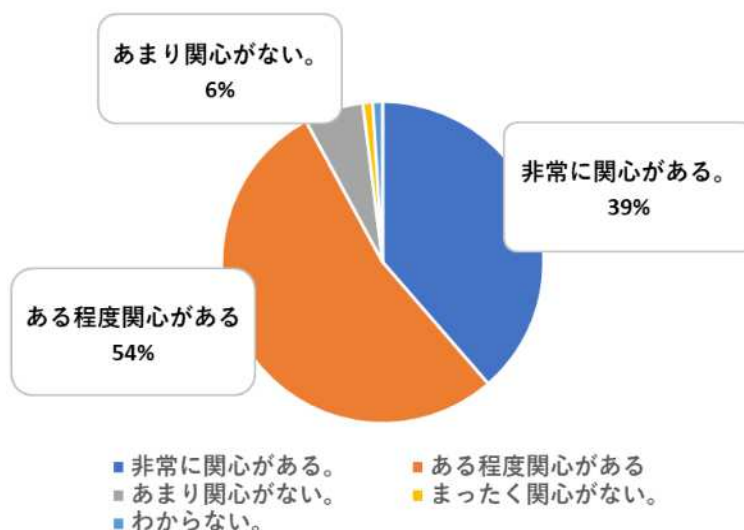
廃棄物・リサイクル対策課（099-286-2594）

- | | |
|--------|--|
| ○ テーマ | 「プラスチックごみ削減」に関する意識調査アンケート |
| ○ 調査目的 | 令和4年にプラスチック資源循環促進法が施行され2年が経過しました。「プラスチックごみ削減」について、今後の取組の参考として活用するため、県民・消費者目線での意識調査を実施するもの。 |
| ○ 調査期間 | 令和6年7月 |
| ○ 調査対象 | 200人 |
| ○ 回答者数 | 139人（70%） |

問1 あなたはプラスチックに関わらず、ごみ全般の減量化や適切な再利用・再生利用の問題に、どの程度関心がありますか。

（有効回答数：139）

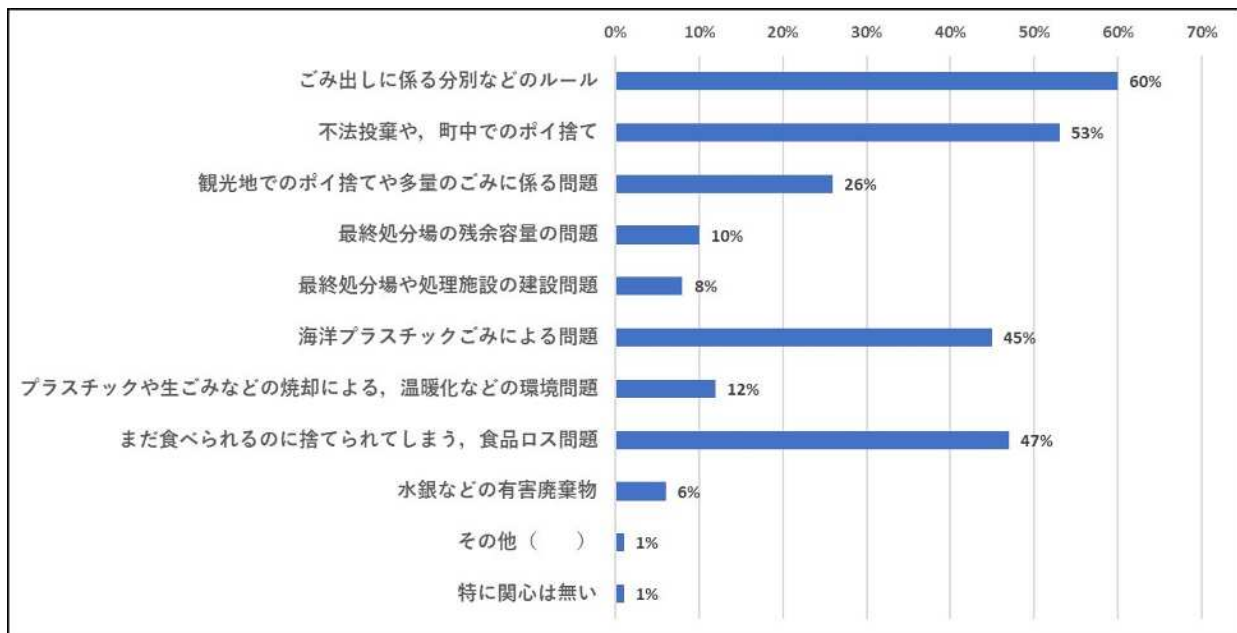
| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|------------|-----|-----|
| 非常に関心がある。 | 53 | 39% |
| ある程度関心がある | 75 | 54% |
| あまり関心がない。 | 8 | 6% |
| まったく関心がない。 | 1 | 1% |
| わからない。 | 1 | 1% |



問2 あなたは、ごみに関する問題について、どのようなことに関心がありますか。
(最大3つまで選択可)

(有効回答数：139)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-----|
| ごみ出しに係る分別などのルール | 83 | 60% |
| 不法投棄や、町中でのポイ捨て | 74 | 53% |
| 観光地でのポイ捨てや多量のごみに係る問題（オーバーツーリズム） | 36 | 26% |
| 最終処分場の残余容量の問題 | 14 | 10% |
| 最終処分場や処理施設の建設問題（必要な施設について、地域の反対などで建設が進まない事例、等） | 11 | 8% |
| 海洋プラスチックごみによる問題 | 63 | 45% |
| プラスチックや生ごみなどの焼却による、温暖化などの環境問題 | 17 | 12% |
| まだ食べられるのに捨てられてしまう、食品ロス問題 | 65 | 47% |
| 水銀などの有害廃棄物 | 8 | 6% |
| その他（ ） | 2 | 1% |
| 特に関心は無い | 2 | 1% |



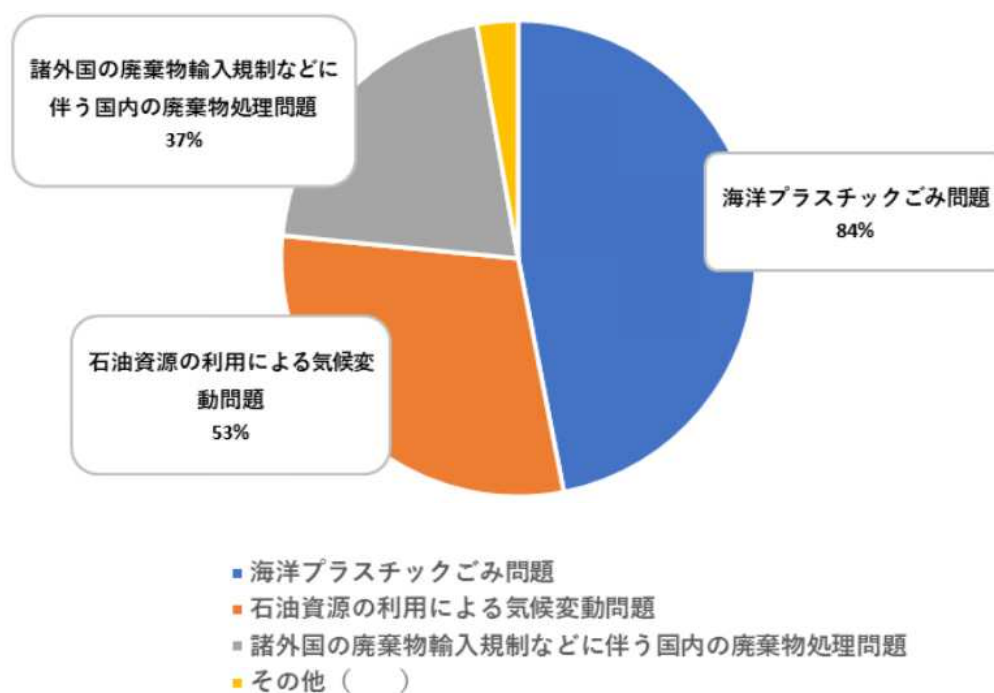
○その他の主な回答

- ・収集されたゴミがどのように処理されているのか。

問3 あなたは、プラスチックに関する問題について、どのようなことに関心がありますか。(複数選択可)

(有効回答数：139)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|----------------------------|-----|-----|
| 海洋プラスチックごみ問題 | 117 | 84% |
| 石油資源の利用による気候変動問題 | 73 | 53% |
| 諸外国の廃棄物輸入規制などに伴う国内の廃棄物処理問題 | 51 | 37% |
| その他 () | 7 | 5% |



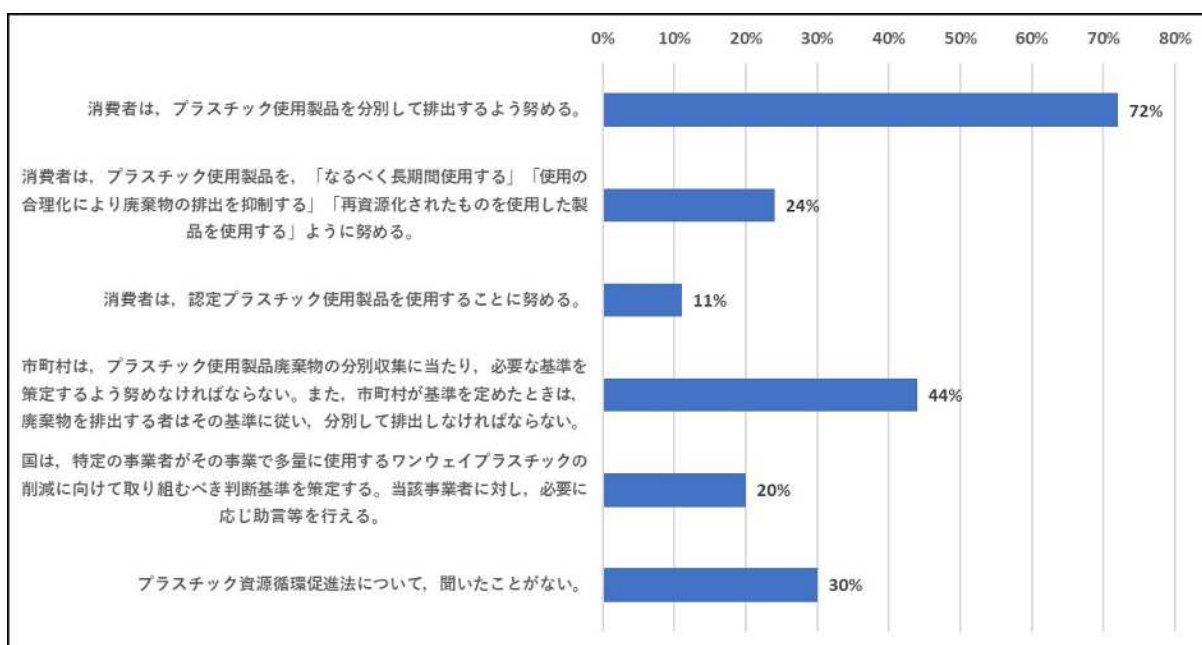
○その他の主な回答

- ・ リサイクルの状況。
- ・ 啓発活動。

問4 令和4年4月に施行された、「プラスチック資源循環促進法（プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律）」ではプラスチックに係る資源循環の促進を図るため、様々な決め事があります。次のうち、御存じの内容について、御回答ください。（複数選択可）

（有効回答数：138）

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--|-----|-----|
| 消費者は、プラスチック使用製品を分別して排出するよう努める。 | 99 | 72% |
| 消費者は、プラスチック使用製品を、「なるべく長期間使用する」「使用の合理化により廃棄物の排出を抑制する」「再資源化されたものを使用した製品を使用する」ように努める。 | 33 | 24% |
| 消費者は、認定プラスチック使用製品を使用することに努める。 ※国は、環境に適した製品設計等がなされている「認定プラスチック使用製品」を認証するとされていますが、R6.5現在、具体の認証制度が未完成で、認証製品はありません。 | 15 | 11% |
| 市町村は、プラスチック使用製品廃棄物の分別収集に当たり、必要な基準を策定するよう努めなければならない。また、市町村が基準を定めたときは、廃棄物を排出する者はその基準に従い、分別して排出しなければならない。 | 61 | 44% |
| 国は、特定の事業者がその事業で多量に使用するワンウェイプラスチックの削減に向けて取り組むべき判断基準を策定する。当該事業者に対し、必要に応じ助言等を行える。（食品小売業が使用するスプーン、宿泊業が使用する歯ブラシ、洗濯業が使用するハンガー、等） | 27 | 20% |
| プラスチック資源循環促進法について、聞いたことがない。 | 42 | 30% |

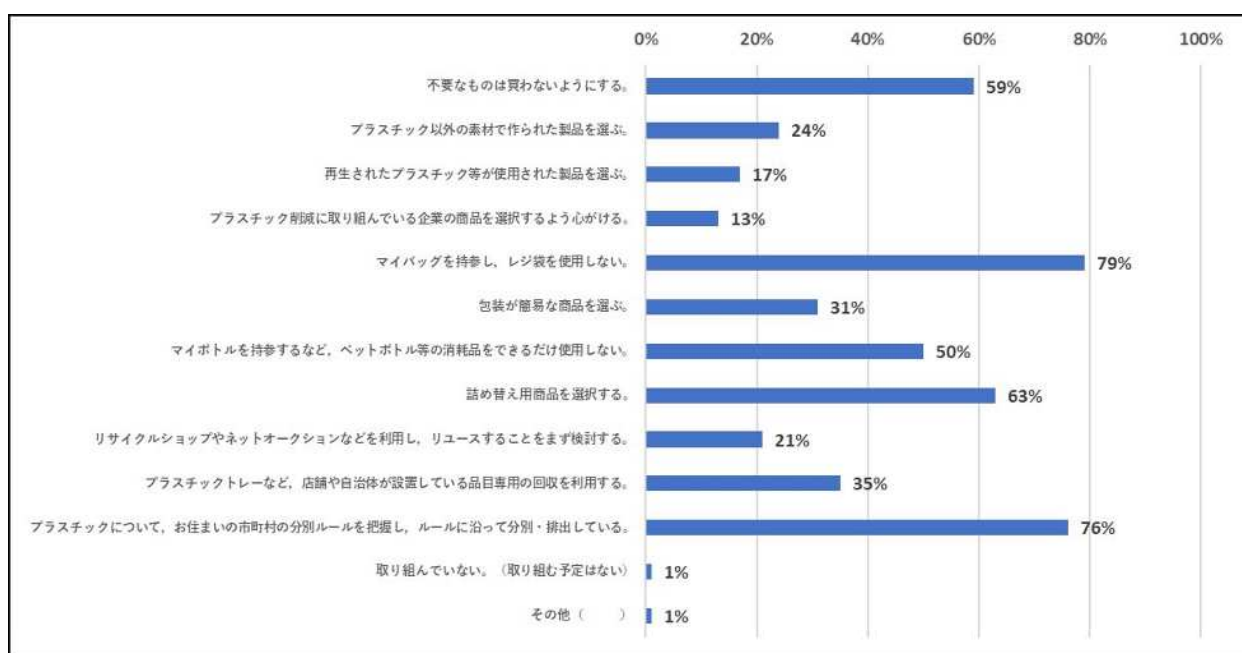


問5 廃棄物問題においては、かねてから、大量生産、大量消費、大量廃棄といった生活様式を見直し、循環型社会形成に向け、変化していくことが必要だと言われており、プラスチックの問題でも、様々な取組が必要です。国も、プラスチックスマート運動を行い、プラスチックごみ対策を推進しています。日頃の生活の中で、プラスチック使用製品廃棄物を減らすため、実際に取り組んでいる内容について、教えてください。また、今後取り組んでいきたいと考えている内容について、教えてください。(複数選択可)

〈実際に取り組んでいる内容〉

(有効回答数：139)

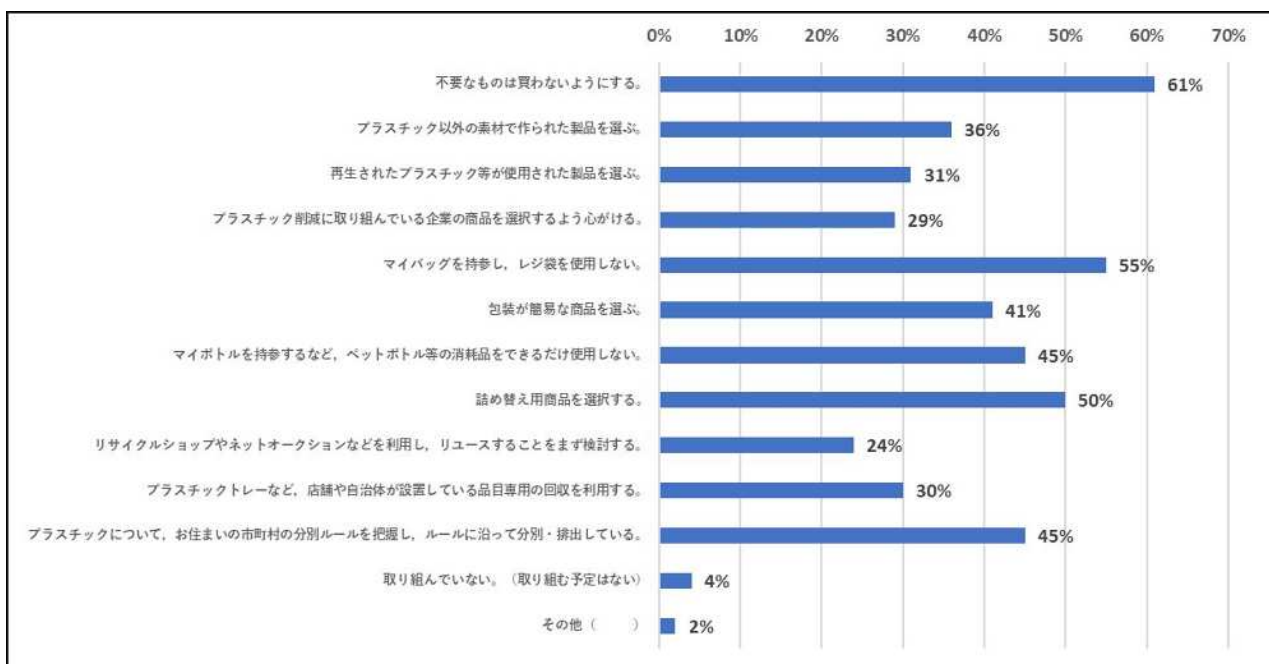
| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-----|
| 不要なものを買わないようにする。 | 82 | 59% |
| プラスチック以外の素材で作られた製品を選ぶ。 | 34 | 24% |
| 再生されたプラスチック等が使用された製品を選ぶ。 | 24 | 17% |
| プラスチック削減に取り組んでいる企業の商品を選択するよう心がける。 | 18 | 13% |
| マイバッグを持参し、レジ袋を使用しない。 | 110 | 79% |
| 包装が簡易な商品を選ぶ。 | 43 | 31% |
| マイボトルを持参するなど、ペットボトル等の消耗品をできるだけ使用しない。 | 70 | 50% |
| 詰め替え用商品を選択する。 | 88 | 63% |
| 使用しなくなった製品について、すぐに捨てるのではなく、リサイクルショップやネットオークションなどを利用し、リユースすることをまず検討する。 | 29 | 21% |
| プラスチックトレイなど、店舗や自治体が設置している品目専用の回収を利用する。 | 48 | 35% |
| プラスチックについて、お住まいの市町村の分別ルールを把握し、ルールに沿って分別・排出している。 | 105 | 76% |
| 取り組んでいない。(取り組む予定はない) | 2 | 1% |
| その他() | 2 | 1% |



<今後取り組みたい内容>

(有効回答数：115)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|---|-----|-----|
| 不要なものを買わないようにする。 | 70 | 61% |
| プラスチック以外の素材で作られた製品を選ぶ。 | 41 | 36% |
| 再生されたプラスチック等が使用された製品を選ぶ。 | 36 | 31% |
| プラスチック削減に取り組んでいる企業の商品を選択するよう心がける。 | 33 | 29% |
| マイバッグを持参し、レジ袋を使用しない。 | 63 | 55% |
| 包装が簡易な商品を選ぶ。 | 47 | 41% |
| マイボトルを持参するなど、ペットボトル等の消耗品をできるだけ使用しない。 | 52 | 45% |
| 詰め替え用商品を選択する。 | 57 | 50% |
| 使用しなくなった製品について、すぐに捨てるのではなく、リサイクルショップやネットオークションなどを利用し、リユースすることをまず検討する。 | 28 | 24% |
| プラスチックトレーなど、店舗や自治体が設置している品目専用の回収を利用する。 | 34 | 30% |
| プラスチックについて、お住まいの市町村の分別ルールを把握し、ルールに沿って分別・排出している。 | 52 | 45% |
| 取り組んでいない。(取り組む予定はない) | 5 | 4% |
| その他 () | 2 | 2% |



○その他の主な回答

- ・プラスチック削減に取り組んでいる企業をもっと研究したい。

問6 問5の1～11の取組について、取り組むことが難しいと考える理由などについて、具体的に教えてください。(最大5つまで選択可)

(有効回答数：76)

<主な回答>

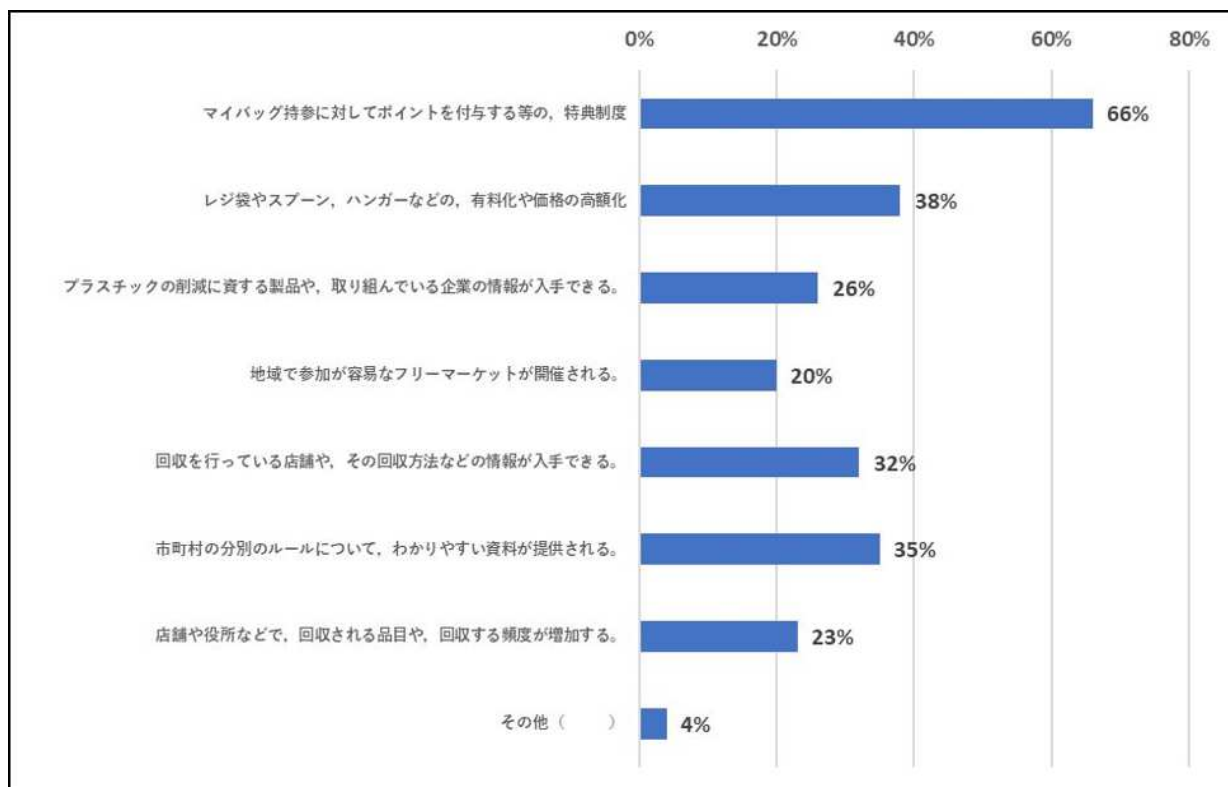
- 項目1 不要なものは買わないようにする。(有効回答数：12)
- ・店頭で安かったり、気に入ったりすると買ってしまう。等
- 項目2 プラスチック以外の素材で作られた製品を選ぶ。(有効回答数：25)
- ・どのような素材が使われているか店頭などでは判りにくい。
 - ・欲しい商品がプラスチックでできていたら仕方がない。
 - ・プラスチックで包装されている商品がほとんどである。
 - ・プラスチック以外の製品について情報不足である。
 - ・プラスチック製品は、手軽に買い求めやすいから。
 - ・プラスチックの代替が紙とするなら森林保護等の環境問題に関わる。
 - ・プラスチックは便利、且つ、大半の利用するものはプラスチックでできているから。等
- 項目3 再生されたプラスチック等が使用された製品を選ぶ。(有効回答数：17)
- ・どのような素材が使われているか店頭では分かりにくい。
 - ・再生されたプラスチックを使用した製品が少ない。
 - ・再生に熱を必要とする。その熱資源は化石燃料であろう。
 - ・安価な物を選びがちなので、再生プラスチックであるかどうかは後回し。等
- 項目4 プラスチック削減に取り組んでいる企業の商品を選択するよう心がける。(有効回答数：25)
- ・具体的にどの企業に取り組んでいるか分からない。
 - ・そこまでして買い物はできない。
 - ・リユースのメリット、削減努力などメーカー側のPRは不足気味。 等
- 項目5 マイバッグを持参し、レジ袋を使用しない。(有効回答数：5)
- ・多忙とうっかりでマイバッグを忘れやすい。
 - ・マイバッグはあるが、5円ならレジ袋をもらっている。
 - ・レジ袋を減らすことは、そもそも、目的とそのための手段として、合理性はあるのか。
 - ・マイバッグ・マイボトルを持参するのが負担
 - ・よごれが気になるし、大量買いをする為、不便だから。等
- 項目6 包装が簡易な商品を選ぶ。(有効回答数：6)
- ・簡易な包装では衛生面を考えて安心なのか躊躇してしまう。
 - ・どれが簡易かわからない。等

- 項目7 マイボトルを持参するなど、ペットボトル等の消耗品をできるだけ使用しない。
(有効回答数：5)
- ・ペットボトルの飲み物をマイボトルに詰め替えるため、直接ペットボトルを購入した方が効率が良くと考えてしまうため。
 - ・夏(6月以降)は暑いとマイボトルの容量では不足、冷たい飲料となると自販機やコンビニのペットボトルを買うことが多くなる。
 - ・マイボトルの所持が面倒
 - ・ペットボトルの利便性は高い。等
- 項目8 詰め替え用商品を選択する。(有効回答数：3)
- ・詰め替えの方が割高な時がある。等
- 項目9 使用しなくなった製品について、すぐに捨てるのではなく、リサイクルショップやネットオークションなどを利用し、リユースすることをまず検討する。
(有効回答数：13)
- ・今のご時世でプラスチック製の製品をリユースするのにためらいがある。
 - ・リユースすることを考えるがなかなか結果にたどりつけない。
 - ・行き帰りの時間、ガソリンもかかるが、リサイクルショップににいても0円だった。
 - ・インターネットをしていない。また、てまひまと処分するまでの保管の問題
 - ・リサイクルショップやネットオークション利用は面倒である。
 - ・やり方が分からない。
- 項目10 プラスチックトレイなど、店舗や自治体が設置している品目専用の回収を利用する。(有効回答数：2)
- ・あまり厳しくしすぎると負担になる。等
- 項目11 プラスチックについて、お住まいの市町村の分別ルールを把握し、ルールに沿って分別・排出している。(有効回答数：5)
- ・複数の素材が接着されていたりと容易に分解できない包装がある。
 - ・自治体の分別ルールがあまり周知されていない。
 - ・収集時間が短く、収集回収日も少ない。
 - ・まだまだ1人1人の認識が不十分である。等
- その他 (有効回答数：5)
- ・常識ある人は知っていても、あまり生活に余裕がない方、仕事が忙しすぎる方には限界がある。
 - ・買い物をするときに余裕がないとじっくりみて買えない。
 - ・使われている素材、取り組んでいる企業等は評価していただけると選びやすいのではないかと。
 - ・難しいと考える理由はどれにせよ根本的に2つ。経済的コストor手間(時間コスト)がかかる割に、その成果が見えづらい。どれだけ努力しても、その成果があまり開示されないままに「やれ」と言われても難しい。
 - ・経済的に余裕がないので、環境にいいものを選びたい気持ちはあってもどうしても安価なものを選んでしまう。等

問7 問5のような取組を、各個人が実際に行うきっかけとして効果がありそうだと考えるものを教えてください。(最大3つまで選択可)

(有効回答数：133)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--------------------------------------|-----|-----|
| マイバッグ持参に対してポイントを付与する等の、特典制度 | 88 | 66% |
| レジ袋やスプーン、ハンガーなどの、有料化や価格の高額化 | 51 | 38% |
| プラスチックの削減に資する製品や、取り組んでいる企業の情報が入手できる。 | 34 | 26% |
| 地域で参加が容易なフリーマーケットが開催される。 | 26 | 20% |
| 回収を行っている店舗や、その回収方法などの情報が入手できる。 | 42 | 32% |
| 市町村の分別のルールについて、わかりやすい資料が提供される。 | 47 | 35% |
| 店舗や役所などで、回収される品目や、回収する頻度が増加する。 | 31 | 23% |
| その他 () | 5 | 4% |



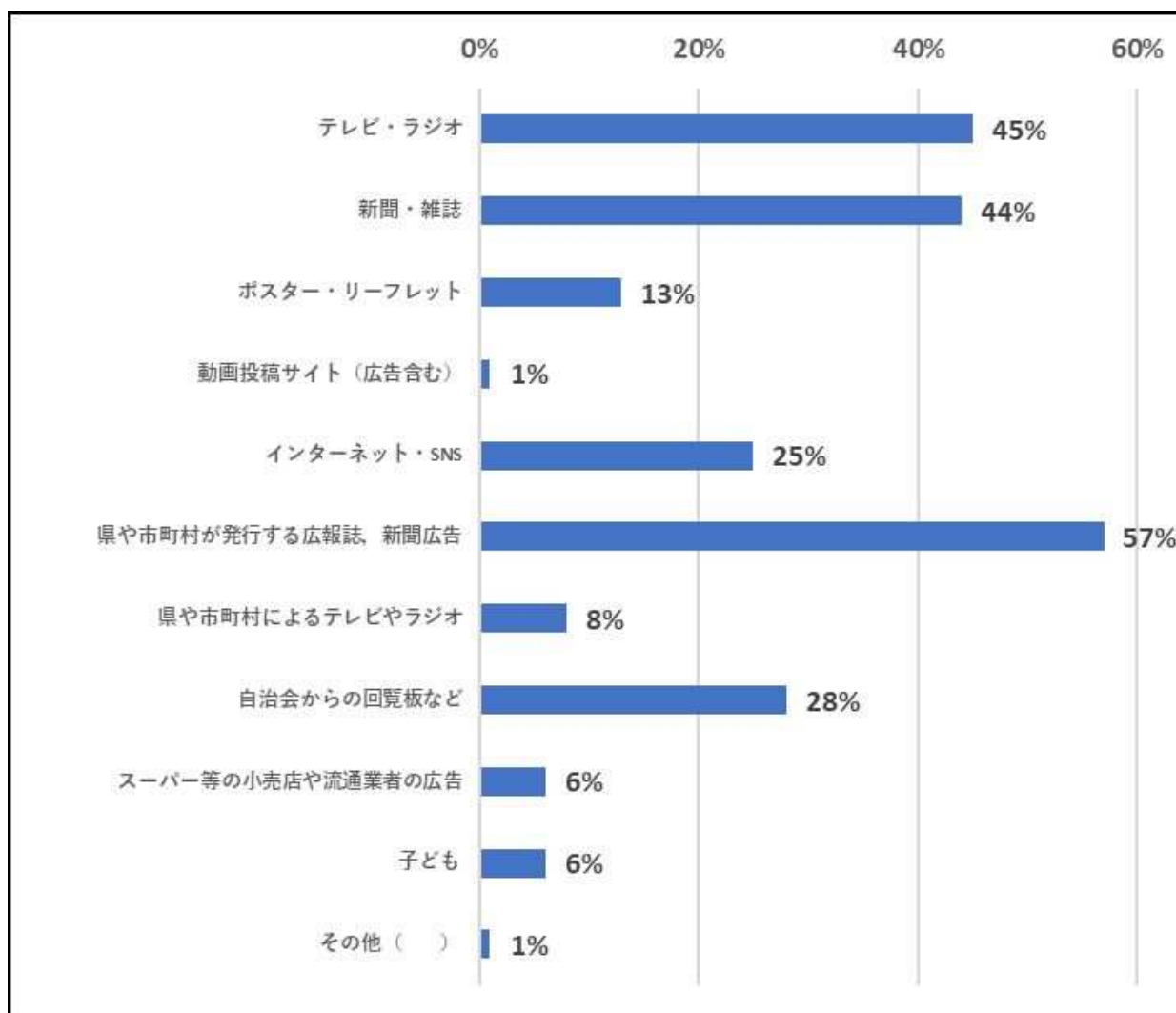
○その他の主な回答

- ・分別、回収の結果及び分別・回収による影響に関するデータを集計・公表する。
- ・外国で小さな子供がゴミの山で仕事として、ビニールやプラスチックをはだして、さがしている姿をとりあげる。

問8 普段の生活の中で、ごみの減量化やリサイクルの取組などについて、どのような媒体で情報を入手されているか、教えてください。(最大3つまで選択可)

(有効回答数：134)

| 選択肢 | 回答数 | 割合 |
|--------------------------------------|-----|-----|
| テレビ・ラジオ | 60 | 45% |
| 新聞・雑誌 | 59 | 44% |
| ポスター・リーフレット | 18 | 13% |
| 動画投稿サイト（広告含む） | 2 | 1% |
| インターネット・SNS | 34 | 25% |
| 県や市町村が発行する広報誌，新聞広告 | 76 | 57% |
| 県や市町村によるテレビやラジオ | 11 | 8% |
| 自治会からの回覧板など | 38 | 28% |
| スーパー等の小売店や流通業者の広告 | 8 | 6% |
| 子ども（学校・PTAの情報や，社会科見学等の内容を子どもから聞く，など） | 8 | 6% |
| その他（ ） | 2 | 1% |



問9 プラスチックごみの削減やリユース、リサイクルに係る取組として、印象に残っている事象について教えてください。(複数回答可)

(有効回答数：44)

○主な意見

- ・ ペットボトルのラベルレス商品。
- ・ レジ袋の有料化。
- ・ 大崎町の具体的なゴミ分別の仕方。
- ・ 自治会の啓発活動。
- ・ マイバッグ。
- ・ 分別が不十分なごみだしが、貸家や集合住宅で見られ、見かねた方が、ゴミ出しの際に立っておられる。その方の変さと、住民の嫌な思いを感じる。
- ・ スーパー等でプラスチックの回収ボックスが出来た。
- ・ セブンイレブンのペットボトル回収で、ポイントが貰える。
- ・ かがしま環境科学館での勉強会に参加したこと。
- ・ 学生時代の資源回収
- ・ 個人で廃棄物のプラスチックを拾って、アート作品を作っているのをテレビで紹介しているのをたまに見る。
- ・ 海洋プラスチック、マイクロプラスチック問題
- ・ 海外のマーケットで果物等が個包装されていないこと。
- ・ 生分解されるプラスチックの開発。
- ・ 令和5年頃に薩摩川内市でサニタリー包装容器のプラスチック製品リサイクル実証するとの発表があった。
- ・ 福島県喜多方市の3R活動でプラスチックごみを減らす運動。
- ・ 地方行政でのプラ類回収事業が開始した。
- ・ ストローが紙製にかわった。等

問10 その他、プラスチックに限らず、ごみの減量化や再利用等について御意見がございましたら、お聞かせください。

(有効回答数：68)

○主な意見

- ・ 分別回収等の市民に負担をかける政策については、その効果を定量的に示す必要があるため、回収後のプラスチックの利用のしかたを詳細に公表すべき。
- ・ とにかく、海には捨てないでほしい。
- ・ 分別が大まかすぎる。瓶の分別も色別にする等の必要がある。
- ・ 分別がわかりにくく迷う時、すぐ調べられたり簡単にわかるようなサイトがあれば。
- ・ 自治体ごとに分別方法が異なるが、自治会の資源ごみの立会をする方の裁量で細かいところまで統一されていないため、徹底して統一する必要がある。
- ・ 自動販売機は便利で国民に定着しているが、これをなくす覚悟を国民が持たないかぎり、この問題は解決しないと思う。
- ・ 子々孫々に少しでもきれいな環境を残したい。
- ・ とにかく細かく分別基準を設け、最大限再利用の道を模索してほしい。

- ・海岸にいくと外国からペットボトルや漁具など漂着している。海洋プラスチック問題が深刻なのではないだろうか。国内もだが国際的な問題として周知して一人一人の意識改革を目指してほしい。
- ・ごみの減量化や分別回収に協力した人へ対して、目に見えるメリットがあるとうれしい。
- ・始良市で行っている錦江湾クリーンアップ作戦のような誰もが気軽に参加出来る清掃作戦を多く企画すべき。
- ・ごみの減量化のため、まず、家庭ごみの削減に努める。ごみを出さないように、食べ残さない、食べ切る量で作る等。
- ・フードロスの取組をもっと積極的にしていただければ。
- ・あちらこちらで回収する取組が見受けられるが、簡単に捨てる人も減らない。
- ・十数年前に婦人会活動で発表したこともあり、特に今始めたことではなく、無意識に減量や再利用に努めていて意識していない。
- ・消費者にプラスチックを使っていないのを選ばせるよりも、プラスチックをたくさん使っている商品は作らせない、店舗に置かせないなど、法整備をするしかないのではないか。
- ・どんなゴミでも、燃料や資源にできればいいが、コストが問題。
- ・市町村によって、ごみの分別が違うので分かりづらい。
- ・地球温暖化について、もっともっと関心が持てるようになると良い。
- ・商品、製品の品目を減らしても企業の利益が減らない取組を進めるべき。
- ・必要なものを必要な量だけ購入するようになれば、ごみの減量化は少しずつだが進む気がする。
- ・資源は有効にの一言。
- ・汚れた空き缶やペットボトル等をそのまま回収できないか。
- ・プラスチック素材はそれを生産した企業に責任を持って再生してもらうか再生が難しい場合は、製鉄所高炉等の助燃材として有毒ガスを極力出さない方法で、焼却させることにより、物やエネルギーを使う量を減らすのが最も有効なのでは。
- ・全ての事業者に計り売りを復活させ、専用容器の使用者に1%のおまけを付与してはどうか。
- ・今後、リサイクル社会になり、物を大切にしないといけなくなると思う。
- ・個包装の比率を下げ、消費期限を再確認する。期限が短くストックがきかず、廃棄も増え、結果的にプラスチックの大量廃棄につながっているように思う。
- ・ごみ収集を有料化する。
- ・プラスチックを回収する時、ポイント付与して現金化し、回収場所を増やしていけば、捨てる人は減り、拾う人が増えると思われる。
- ・バイオプラスチックの利用促進。紫外線劣化プラスチックの普及などメーカーの努力と成果の後押し。焼却処分場の能力増強と熱回収、二酸化炭素発生抑制システムの導入促進、水素・太陽・アンモニアエネルギーの利用による化石燃料の低減と活用をすべき。
- ・地域ごとに決められたゴミカレンダーがあるが、地域外から夜中のうちに曜日以外のゴミを出している人が多い所でとても困っている。ごみ（食品ロス）を減らす＝必要以上に買わない事、又コンポスト利用について、広くおすすめてほしいです。地球に優しい生活を心がけよう。
- ・食品ロスについて子ども食堂や地域食堂におろすことは考えないのかと思う。
- ・パルプ加工工場で発生する木材の皮の利用について加工販売したらと思う。牛、豚

の敷料として利用できる。

- ・ ペットボトル等のデポジット制度があれば回収率が上がり、ごみも減少するのではないか。
- ・ ゴミを処分するのは消費者と行政の責任であるが、ゴミを生みだしているのは企業（の製品）である。消費者の意識だけでごみの減量や再利用を進めるのは難しいため、企業側への取組が重要。
- ・ 町内会に入る人が減り、情報共有ができない。大人への啓発・情報提供の手段を考えるべき。
- ・ 大変気になる問題ではあるが、正確な情報を入手する手段がない。
- ・ 店頭での資源物の回収を行う店舗が増えると良い。
- ・ 過剰包装やプラスチック製品を配る慣習を見直すべき。
- ・ 生ゴミを肥料へリサイクルする取組が広がれば良い。
- ・ 個々人の意識が大切。勉強会など知る機会を増やすべき。
- ・ 生活環境問題、気候変動問題について幼少期より意識させることが必要。
- ・ その時にしか使わない物にお金をあまり掛けたくなかったため、ベビー用品をフリマサイトのメルカリやヤフオクなどで購入したが、送料などで安くならなかった。地域の子育て支援センターや市役所でフリマやお譲り会、大きいものはレンタルしてくれたら良いのと思う。その時しか使わないのに買うのも大変であり、使わなくなった後のお譲り先を探すのも大変である。等